

# 西宮市の天然記念物の学術調査と啓発活動

神戸大学保全生態学研究会 代表：修士2年 柏木圭太  
指導教員：石井弘明 教授

## 活動目的

西宮市の天然記念物や保護対象に指定されている社寺林および巨樹・老木などについて生態学的な調査を行い、適切に管理するための政策について地域団体および自治体と連携しながら、学術的知見にもとづいた保全・管理計画に積極的に関与するとともに、市民が都市の緑に接し、理解を深める機会を提供するためのイベント企画などの活動および情報発信を行う。

## 調査のようす



えびすの森はかつて外来種が繁茂する森林だったため、2005年に大規模な外来種除去を実施。現在も神社および市民と協力しながら林内の生態をできるだけ自然に近い状態で維持するための管理を継続中。今年度は植生調査データをもとに、森林のゾーニング計画を管理者に提案。



巨木は街の景観を守り、緑化を促進すると同時に、日々成長し変化する樹木を周囲に暮らす人々や建物に被害を及ぼすことのないよう管理していく必要がある。今年度は西宮市と連携し、天然記念物に指定されている保護木について、約10年ぶりに樹高や幹回りを測定。

## 普及・啓蒙活動



西宮文化協会と連携し、西宮神社社叢「えびすの森」にて、天然記念物に関する講義と林内清掃イベントを実施（11月）。ゴミ拾いと同時に外来種除去を行い、天然記念物について市民の理解を深めた。



文化庁、西宮市文化財課と連携し公智神社にて天然記念物の社叢林と文化財の神輿殿の見学会を実施（12月）。互いに干渉しあう天然記念物と文化財の双方を保全するという課題について、現地で意見交換を行った。

## 今後の展望

- 引き続き各調査地において詳しい学術調査を行い、都市緑地の保全・管理手法の提案に努める。
- コロナ収束後は、西宮神社以外でも学外の協力者も交えた市民向けの講義やイベントを行い、天然記念物や都市林に関しての普及・啓蒙活動を行う。